

1:出席者

加藤^a・大西^b・岡部・千葉・平林・合川^{c,d}・セルゲイ^c・内藤^c・吉田^c
(^a:委員長, ^b:議長, ^c:オブザーバー, ^d:書記)

2:報告

- 加藤と大塚が原研核データ研究会に参加した。大塚が”Web-based Editor for Nuclear Reaction Data”という題名で発表を行なった。(加藤)
- 原研で特別会計(高度放射線測定技術による革新炉用原子核データに関する研究開発)の打ち合せを行なった。北大では EXFOR, JENDL 等のデータを一括検索比較するツールの作成を行なう予定。(加藤)
- 2001年のデータ動向調査が学生アルバイトの協力のもとに終了した。世界の核実験論文総数に占める日本の実験論文の割合は約6%で前回(10年前)と大きな変化はない。(内藤・セルゲイ)
- 今年度の25編の作業の目処が付いた。新たに15編を加える。今後20編のレフェリが必要(1月末までに一人3,4編)。今年度対象論文 D1760-D1800のうち EXFOR への変換可能論文は40編中34編。Nucl.Instr.and Methods A を新たに採録対象に加える。D1752, D1761, D1768, D1779, D1782 がレフェリ終了。(吉田)

3:議論

- 年次報告書
事業費による核データ活動は終了したが、今年度も引続き年次報告書を出版する。
- 動向調査関係
今年度の年次報告書に調査結果を掲載。また春の原子力学会(佐世保)と2003年 IAEA 核データセンター会議で内藤・セルゲイがそれぞれ報告の予定。
- 追加採録対象論文について
15編の追加を承認。作業を進めることとする。
- 新規コード
1) SIGMA/DPL と DELTA-DSIGMA/DPL
DPLの表記でいいのか? Longitudinal を表すもっと良いものは?
2) K_{yy}
 K_{yy} は K_{yy} だけの場合と $K_{yy'}$ の場合がある(今回の論文では $K_{yy'}$)。EXFOR との関連、両者の区別などを調べる。
- ドメイン取得について
北大内で org ドメインが使えるかを大型計算機センターに確認。可能ならばドメイン jcporg.org を新規購入する。
- コーディング時の実験数値データ提供依頼について
依頼するのは第一著者でなくとも良いが、原則として第一著者には依頼内容を伝える。
- Web 上での検索・グラフ表示システムの紹介
紹介された試作中のシステムに対して、
 - cgi 版と Java 版のうち cgi 版を先行して仕上げては?
 - バージョンを助言委員に使用してもらおう(今年度中に)、その後 バージョンを公開すれば?
等の意見が出た。

4:次回

2003年1月14日 18:30より